

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年 5月18日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	タービン建屋換気空調系給気ファン(A)出口側キャンバスダクト(たわみ継手部、管理区域)において、空気の漏えいが認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、給気ファンを(A)から(B)に切り替えたことにより空気の漏えいは停止しているため、タービン建屋換気空調系の運転に影響はない。	GⅢ	5月15日
2	3号機	タービン建屋換気空調系給気ファン(B)逆流防止ダンパー付近のキャンバスダクト(たわみ継手部、管理区域)において、破損が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、当該機器は現在停止中のため、タービン建屋換気空調系の運転に影響はない。	GⅢ	5月17日
3	3号機	タービン建屋換気空調系給気ファン(A)逆流防止ダンパー付近のキャンバスダクト(たわみ継手部、管理区域)において、空気の漏えいが認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、空気の漏えいは微小漏えいであり、アルミテープにて補修を実施したことにより空気の漏えいは停止したため、タービン建屋換気空調系の運転に影響はない。	GⅢ	5月17日
4	その他	4月28日に原子力規制委員会に提出した「1～4号機 定期事業者検査報告書(開始時)」の点検計画において、排気筒の点検及び試験項目について「外観検査」と「外観点検」と2項目を記載すべきところ、「外観点検」のみの記載であることを確認したため、点検計画を修正。	GⅢ	5月12日